

## 第98回役員会議事要録

日時：平成29年12月13日(水)14：00～

会場：大学本館E-702会議室

出席者：津田理事長、松尾副理事長、片山理事、柳井理事、梶原理事、田上理事  
(オブザーバー) 福田監事、二宮副学長、中尾副学長

### 議案

- 1 英米学科の改編について
- 2 新社会人教育開設準備委員会の設置について
- 3 学則及び大学院学則の改正について

### 報告

- 1 今年度卒業予定者の就職内定状況について

#### 議案1 英米学科の改編について

<質疑応答>

[理事]

○学生を募集する際、専門教育コースが3つあることを明示した方が分かりやすいのではないか。

[副学長]

○当初は、厳格なコース制も検討していたが、ある程度の科目を準備する必要があり、教員確保やコストを考慮し、実現可能などころとして各コースに重なりを持たせた体系でのスタートを考えている。今後実施していく中で、要望があれば検討していきたい。

【議長】提案のとおり承認してよろしいか。

【委員】異議なし

#### 議案2 新社会人教育開設準備委員会の設置について

<質疑応答>

[理事長]

○想定しているターゲットは、どういった方か。

[副学長]

○メインは、アクティブシニアといわれる60歳以上の比較的元気で学んだものを更に社会に生かしたいと考えている方を想定している。もう一つは、家庭に入った若い女性で、再度社会に出る前に大学で学び直してもらい、再就職を支援できたらと考えている。

[理事長]

○働くということがメインなのか、教養というのがメインなのか。

[副学長]

○若い女性は、ある程度の金額を払って学びにくるなら投資に対する利益が必要と想定しているので、プログラムの中にキャリアアップの支援を組み込めたらと考えている。アクティブシニアについては、必ずしも働くということではなく、これまで得てきた知識や経験を生かしたボランティア活動など、地域社会で活躍していただけるようなプログラムを検討したい。

[理事長]

○マッチングの機会も増やしていくのか。

[副学長]

○大学を中心とした学びのコミュニティを作り、これまで繋がりのなかった場所との繋がりを作っていたらと思っている。

[理事]

○様々な社会人向けのプログラムに講師として出向くが、費用のかからない講座では、同じような顔ぶれを見かける。他の社会人向け教育プログラムとは違った観点で独自色のあるプログラムを考えていただけたらと思う。マネジメント研究科を立ち上げたとき、やる気と興味はあるが受講は難しいという人は沢山いた。北九州市の実情に合ったところをリサーチし、もっとターゲットを絞ってもいいのではないかという気がする。

[理事長]

○北九州市は、高齢化が進んでいるのでシニアや女性に働いてもらわないと地盤沈下方向に向かうので、教養型よりも働くことに意識してもらおう方がいいだろうと思う。

【議長】 提案のとおり承認してよろしいか。

【委員】 異議なし

議案3 学則及び大学院学則の改正について

<質疑応答>

なし

【議長】 提案のとおり承認してよろしいか。

【委員】 異議なし

報告1 今年度卒業予定者の就職内定状況について

<質疑応答>

なし